小野南中学校区小中一貫教育グランドデザイン

　ふるさとを愛し、世界に学び、未来を切りひらく児童生徒の育成

　―　かしこく（学力向上）・やさしく（思いやり）・たくましく（自立）―

たくましい身体の育成

食育の推進

（ひまわりカード・ハートフル弁当・交流ランチ）

小・中学校交流マラソン大会

体育授業展開の工夫

計画的な安全教育

日常的な体力づくり

豊かな心の育成

規範意識の向上（生活・校則・ルールの遵守）

一日体験入学（授業体験・部活動体験・生活体験）

道徳授業の新たな展開（教科化）

道徳的実践力の強化

小中合同人権フィナーレ

心の通い合う生徒指導

確かな学力の育成

授業研修会（分かる授業の推進）

乗り入れ授業（高度な授業）

教科担任制（高学年）

出前ものづくり（理数教育の推進）

家庭学習の推進

（家庭学習の手引き・マイスタ・自主学習）

☆一貫した生徒指導体制の構築☆

■小中の滑らかな接続（個性尊重引き継ぎ）

■心の通い合う生徒指導の充実

○自尊感情の育成

○キャリア・道徳教育の推進

○児童・生徒理解の共通認識

☆学力・指導力向上☆

■９年間を見通した授業

■小中教職員による合同研究推進

○一貫した系統的な学習指導

○おの検定の活用（基礎学力の定着）

○理数・外国語教育の推進

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | 第Ⅰ期（４年）　１年生～４年生 | 第Ⅱ期（３年）　５年生～７年生 | 第Ⅲ期（２年）　８年生～９年生 |
| 学び | 反復・定着による「できた」「わかった」などの達成感や「知りたい気持ち」「わくわく感」重視。 | 具体的な思考から抽象的な思考へ。「知りたい気持ち」から主体的な問題学習へ。 | 目標意識（将来へ夢や目標を強く意識）や知的好奇心（学ぶこと自体を楽しむ）を重視。 |
| キャリア発達 | 自分の思い、考えを伝えることができる。自分や友だちのよさをとらえ、協力できる。係や当番活動でみんなのために取り組む。日常生活や学習と将来の生き方とつなぐ。自分で課題解決しようとすることができる。 | 話し合い等で、多様な考えを理解できる。異年齢集団で役割と責任を果たす。学びや体験を生活や職業と関連づける。将来を考える大切さがわかる。将来の夢や希望の実現へ努力しようとする。 | 自他のよさ・感情を理解し、尊重する。チームを組んで支え合いながら仕事をする。進路・職業の情報を多面的に集め検討する。自己を生かす将来を現実的に考える。将来設計実現へ課題解決に取り組む。 |

プロジェクトチーム機能を生かした教育活動の展開

小中一貫教育推進委員会

小中一貫推進協議会（教職員・保護者・地域）

専門部会

教科部会

学習部会

◎小中合同研究推進

○「家庭学習の手引き」の実践

○授業公開週間(小中交流参観)

各教科部会

◎理数科の系統・重点的な項目の研究○新学習指導要領対応

(外国語の教科化・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾐﾝｸﾞ教育)

○９年間の各教科カリキュラム再編

道徳部会

キャリア部会

◎キャリア教育カリキュラムの作成

○多様な体験活動の実施

○各教科・領域でのｷｬﾘｱ形成の研究

生活部会

◎児童生徒理解にかかる共通認識

○望ましい生活習慣・態度の育成

○児童会生徒会の交流

広報部会

◎学期毎の取組紹介チラシ配布○地域啓発リーフレットの作成

○地域との連携による広報活動

◎特別の教科「道徳」授業の研究

○体験活動・学校行事の推進

○発達段階をふまえた人権課題の研究